

3-12. 第6回しずおか環境・森林フェアへの出展

担当研究室

生態化学研究室(橋本伸哉, 藁科 力)

環境工学研究室(岩堀恵祐, 関川貴寛)

11月14～16日(金)～(日)の3日間、ツインメッセ静岡にて「第6回しずおか環境・森林フェア」が開催された。静岡県立大学環境科学研究所は、第1回よりこのイベントに参加し、来場者の方々に本研究所の環境への取り組みを広く知って頂く様、務めてきた。今回も本研究所13研究室のこれまでの環境研究成果と現在の研究内容をパネル展示にて紹介した。本研究所の出展ブースを訪れた方々は、特に環境について興味のある方が多く、研究内容に関して多くの質問が寄せられた。中には企業の方からの質問や問い合わせ等もあり、産学連係による研究の可能性も感じられ、好評の内に終了した。

今年は、洞爺湖サミットで地球規模の環境問題として地球温暖化が取り上げられた事、温室効果ガスの削減目標を定めた京都議定書の約束期間の終了が迫っている事などがマスメディアに取り上げられ、多くの人が改めて環境問題に関心を寄せていると思われる。このような状況の中で、今後も「しずおか環境・森林フェア」に参加し、県民の皆さんと本研究所が環境問題について対話できたらと考えている。

3-13. 高大連携講義

高校名： 県立静岡農業高校

開催日時： 2008年9月19日

担当者： 伊吹裕子

講義テーマ： 「光触媒」の不思議を科学する

【講義概要】

光触媒とは何か、環境に視点をおいたその利用技術(水の分解、環境浄化など)、さらには問題点について講義した。途中、ブラックライトを用いたミニ実験を取り入れ、光および励起反応についての理解を深めた。また、大学院生活について、研究室の大学院生の一日を追った写真を見せながら紹介した。

3-14. 環境科学研究所ファカルティデベロップメント(FD)活動

担当： 谷 晃(全学FD委員)

今年度より全学委員会としてファカルティデベロップメント(FD)委員会が立ち上がった。FD活動の大学院および学部の義務化に伴い、各部署で精力的に取り組むことになった。本年、環境科学研究所および環境物質科学専攻としては以下の取り組みを実施した。

① FD 講演会(食品栄養学部、生活健康科学研究科と共催)を9月26日に開催し、東京大学の石浦章一教授に講演いただいた。内容は東京大学教養学部でのFD活動の取り組みであった。

② 専攻セミナーを学生による運営にて実施した。教員は企画、準備段階からほとんど関与せず、博士課程の学生を中心としてセミナーを運営した。以前より学生から多くの質問がでて、セミナーに参加する学生の積極的な姿勢が見られた。

③ 9月10日にフィールドワークとして佐鳴湖へ見学に行った。教員と学生から多くの参加があり、静岡県の大規模な環境問題である佐鳴湖の水質汚濁の現状を認識できた。研究分野が異なる学生や教員の参加も多くあり、広く環境問題を知るよい機会となった。

④ 7月9日に大学内の保健センターにてカウンセラーの中野先生を囲み座談会を開催した。教員の参加が18名あり、学生の精神的な問題に関してカウンセラーと意見交換するとともに、対処法に関する助言を得た。

⑤ 静岡中東部の大学や研究機関の学生や研究者が、研究を紹介しあう富士山麓アカデミック&サイエンスフェアへ研究所として参加した。当研究所から大学院生による17課題のポスター発表をした。参加した学生からは、他分野の研究者へ自分の研究をわかりやすく説明することの難しさを実感できるよい機会であったという声が寄せられた。

3-15. 第22回 静岡県立大学公開講座

平成20年11月、本環境科学研究所は、「環境研究の最前線—身近な環境問題から地球環境問題まで—」のテーマで公開講座に参加した。研究所所属の4教員による講演が、浜松会場(浜松市地域情報センターホール)で行われた。

11月1日(土)	「静岡県の身近な環境問題—佐鳴湖から富士山まで—」	環境科学研究所	教授	岩堀 恵祐
11月8日(土)	「医薬品による水環境汚染」	環境科学研究所	助教	寺崎 正紀
11月15日(土)	「身の回りの環境ストレスと生体応答」	環境科学研究所	助教	榊原 啓之
11月22日(土)	「植物と地球環境」	環境科学研究所	准教授	谷 晃

本会場の延べ受講者数は135名であり、以下のご意見・ご要望をいただいた。一部を掲載する。

- ・ なるべく機会を増やしてほしい。
- ・ 次回の公開講座情報が欲しい。
- ・ 開講情報をより広く伝えて下さい。
- ・ 有料でもよいのではないですか(資料代)。
- ・ 質問コーナーでの答えがわかりやすかった。
- ・ 各学部単位が環境に関連しているので順次テーマを出して下さい。
- ・ 資料を広げメモをとるスペースが狭く難儀した。机のある会場を設定して欲しい。
- ・ 大変参考になりました(4件)。
- ・ 他の会場の講座も浜松で開催してほしい(5件)。
- ・ 今回の講座を再度視点を変えて実施してほしい(2件)。
- ・ 地元にながら大学の先生方の講義を拝聴することができて良かった。また、向学心に燃える先輩方がたくさんいらっしゃることに驚いた。もっと若い人も参加すればいいのと思う。
- ・ 今回のテーマは環境の現状をとらえて、問題提起のきっかけとなる内容だと思いました。どうしたらよいのかを少しでもわかればうれしかったです。ですので、もう少し深掘りできたらよいと思います。また、学生が受けている講義と同じことでよいので、シリーズをつづけていただけたらよいと思います。年間を通じて公開講座があればうれしいです。
- ・ 環境問題は一人一人の自覚が最大のポイントという事が身にしみて感じられました。もっと大勢の方達に講義を聞いて頂きたいと思います。県大の努力に感謝申し上げます。
- ・ (今後開催する際の希望テーマについて)「浜名湖・佐鳴湖の潮流形態と生物環境」、「社会基盤整備と環境」。